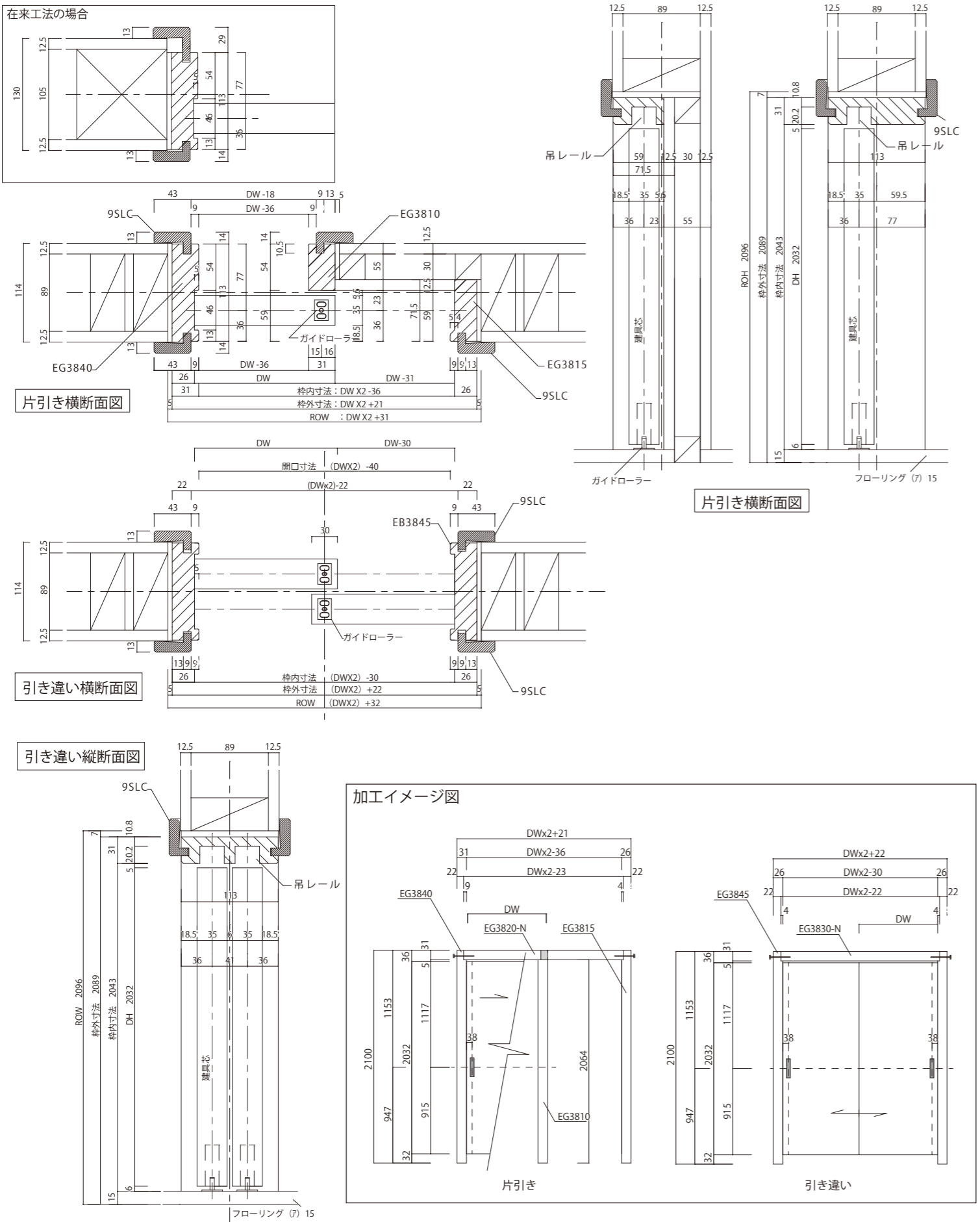
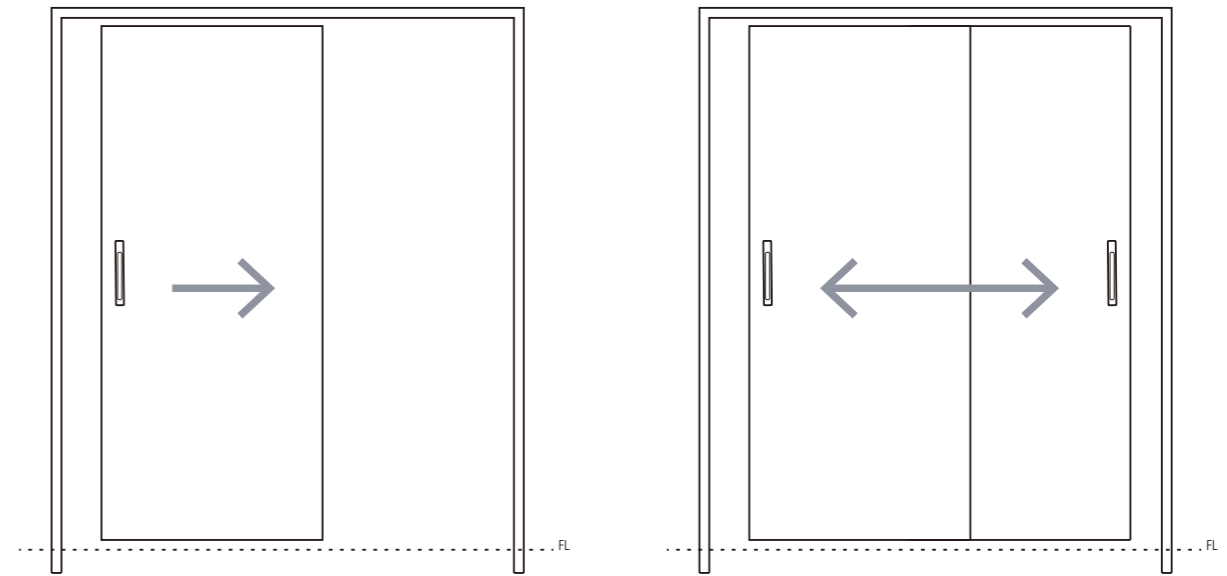


片引き/引き違いドア納まり図 【差込型枠】

PreSet Door インテリアドア 施工説明書

片引き / 引き違いドア ノックダウン仕様



注意事項

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、弊社営業担当者までご連絡ください。
- ・内装ドア以外への転用および改造は行わないでください。
- ・ねじ止め箇所は、指定してあるねじを全て確実に止めてください。
- ・ドア本体は重いもので約 50kg あります。建て込みの際には三人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
- ・シーリング（コーキング）は、塗布箇所を十分に清掃し、指定箇所全てを確実に行ってください。
- ・組立・取り付け完了後、開閉作動や施錠が正常に行うことができること、および使用上の不具合がないか確認してください。
- ・施錠した状態で枠とドア間等に隙間が生じていないか、ご確認ください。
不具合がある場合は確実に建て付け調整をしてください。
- ・引渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

塗装済みの場合・タッチアップペイントが同梱されています。高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。

- ・A液（主剤）とB液（硬化剤）があります。ご使用の直前に色の沈殿等がなくなるまでよく混ぜて、早めにご使用ください。（時間が経つと硬化します。）

梱包内容

標準セット	梱包内容	片引き	引き違い	備考	確認
ドア	ドア	1 枚	2 枚		
ドア枠	ドア枠	4 本	3 本	差込型（上枠 1 本 縦枠：片引き 3 本引き違い 2 本）	
	レール	1 本	2 本		
	金物セット	1セット	2セット		
	引き手	1セット	2セット	ゴールド/シルバー/ブラウン/ブラック	
	組立・躯体取付用ビス	24 本	24 本		
	タッチアップペイント	1ボトル	1ボトル	塗装済みの場合のみ	

その他の仕様は当社Webサイトの「カタログ・図面ダウンロード」ページよりご参照ください。

施工手順

①上枠と縦枠の取り付け

三方枠を組み立てます。

- 縦枠は長さ 2100mm で納品されますので、現場に合わせてカットしてから組み立ててください。
(カット寸法は、クリアランス (上側 5mm+ 下側 6mm) を考慮して決定してください。)
- 上枠と縦枠は片側 2 本のビス (65mm) で固定します。
【ポイント】・縦枠の上枠が取り付け部分 (戸当り部分) に一部欠き込みが施してあります。
- 縦枠の上枠が取り付け部分に接着剤を併用して、両側同じ様にビス止めします。
【ポイント】・接着剤は塗装を考慮し、はみ出ない様に注意してください。
- 片引きの場合は、中方立ても組み立てます。



②ドアの準備

- ドアの上部両側にケースカバーを取り付けてください。

③枠の取り付け

- 躯体と枠のクリアランスにスペーサーを入れます。
両側 5ヶ所程度、枠外寸法に合わせて垂直になるようにスペーサーを固定します。
- 組み立てたドア枠を躯体開口部に入れます。

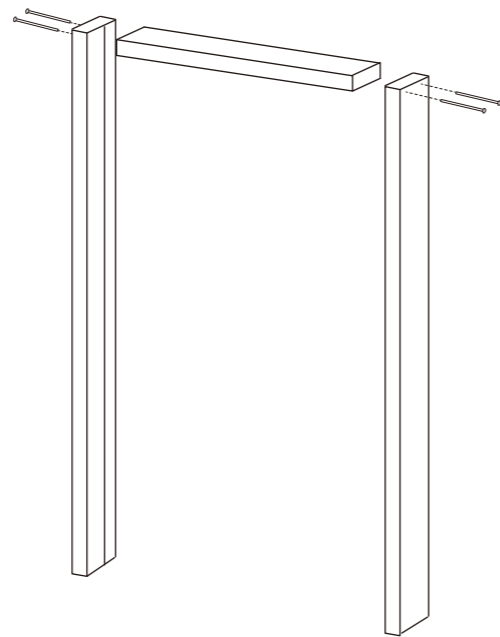
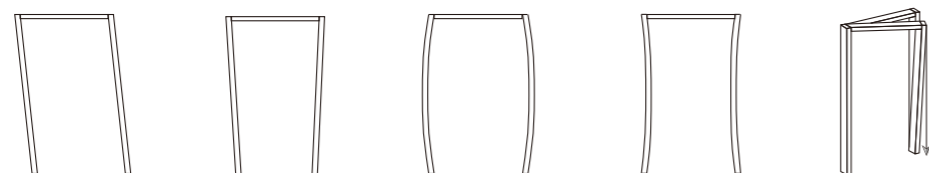
【ポイント】枠の中心と壁の中心を合わせて、表裏の散り寸法を同じにします。

(片引きの場合のみ) 平壁が中方立てより厚くならないように注意してください。

- 縦枠の固定は、接着剤を併用しケーシングの差し込み部の中から、斜めにフィニッシュネイルで固定します。
- 上枠は、躯体とのクリアランスを確認し十分な厚さのスペーサーを入れて、斜めにフィニッシュネイルで固定します。



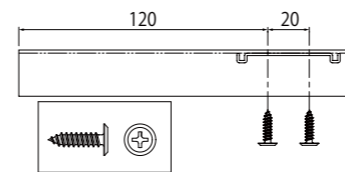
【枠の取り付けについて】枠を取り付ける際には、以下のようにならないようにご注意ください。



④レールの取り付け

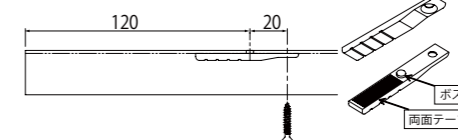
- レールの戸先側に上ランナー、戸尻側にブレーキキャッチをセットします。(引き違いの場合は 2 本用意します。)
- 上枠の溝の部分にレールを取り付けます。
戸先側には吊り車セット用受け金具、戸尻側にはブレーキ受けを下図のように取り付けます。

吊り車セット用受け金具 (戸先側)

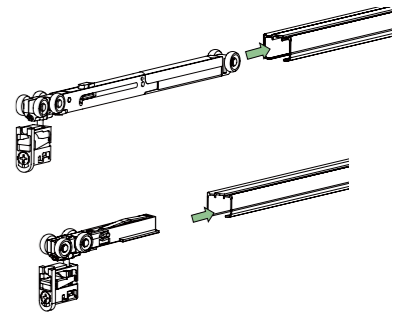


- ※吊り車セット用受け金具に左右の方向性はありません。裏表はご注意ください。
- ※専用のビスにて固定してください。

SDU-B ブレーキ受 (戸尻側)



- ※ブレーキ受け裏面の両面テープの保護シートをはがし、ボスを 120mm 位置のφ5の穴に合わせて貼り付けてください。
- ※左右に注意して取り付けてください。

戸先側
上ランナー戸尻側
ブレーキキャッチ

⑤下ガイドローラーの取り付け

- 引き違いはレール幅中心で開口の中央の位置に、片引きはレール幅の中心で開口部に出ないように、床に直接下ガイドローラーを取り付けます。

⑥ケーシングの取り付け

- 枠とレールの固定が終了したら、ケーシングを接着剤併用でフィニッシュネイルで取り付けます。
【ポイント】ケーシングの足を差し込みすぎると留め部分に隙間ができる場合がありますので注意してください。

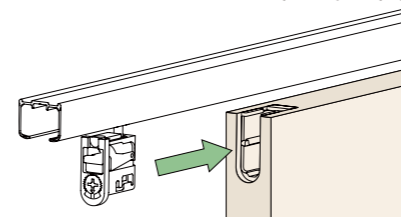
接着剤は現場の指示に従って使用してください。

- ※ドアの設置場所が入り隅部で、L字に 2ヶ所設置される場合は、ケーシング同士が干渉する場合がありますので、枠の取付位置、スペーサーの厚みに気をつけてください。



⑦ドアの設置

- ドアのケースカバーに吊り車を固定します。カチッとハマったら取り付け完了です。

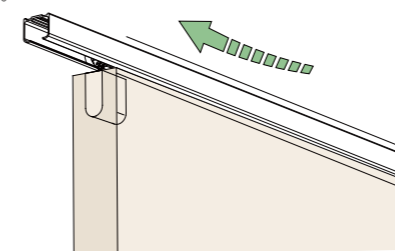


真横からスライドし、セットして下さい。

<吊り込み後の確認と調整>

SDU-HDC 上ランナー仕様

ゆっくりと扉を閉じ、ダンパーが作動することを確認して下さい。正常に作動しない場合は扉をカチッというまで閉じ、再度確認して下さい。



SDU-B ブレーキキャッチ仕様

調整方法は、扉を吊ったまま、六角スパナ6Hで、調整します。向かって右に回すとブレーキ力は弱くなり、左に回すと強くなります。回し過ぎに注意してください。約1回転でブレーキ力は変化します。

